

15) 今田屋章, 寺沢捷年, 土佐寛順, 松山幸孝, 三瀨忠道, 松田治己: PSS と RA の overlap 症候群の 2 例. 第13回北陸リウマチ研究会, 1984, 7, 金沢.

16) 三瀨忠道, 今田屋章, 寺沢捷年, 土佐寛順, 松山幸孝: 成人発症の若年性関節リウマチの 1 例. 第13回北陸リウマチ研究会, 1984, 7, 金沢.

17) 河内ふゆみ, 三瀨忠道, 松山幸孝, 寺沢捷年, 加藤義治, 藤倉信一郎: 胃切除後, カルシウム吸収不全による骨軟化症をきたしたと考えられる 1 例. 第 6 回北陸骨 Ca 代謝談話会, 1984, 10, 金沢.

18) 寺沢捷年: 血小板アラキドン酸代謝に及ぼす和漢薬の効果—血小板凝集能MDA値の変動—. 第 1 回富山和漢薬懇話会, 1984, 11, 富山.

19) 荻田善一, 堀越葉子, 井上恭一, 佐々木博, 今田屋章: 組織内 SOD の電気泳動的解析法. 日本臨床代謝学会記録 (XX): 202—203, 1984.

20) 井上恭一, 康山俊学, 古谷田裕久, 佐々木博, 堀越葉子, 荻田善一: 各種肝疾患における肝組織中 SOD の電気泳動的解析. 日本臨床代謝学会記録 (XX): 200—201, 1984.

検 査 部

教 授 桜 川 信 男
助 手 高 橋 薫
助 手 近 藤 信 一

◆ 著 書

1) 小出武比古, 高橋 薫, 桜川信男: 追加: 異常 ATIII “Toyama” の精製と分子異常解析. 「立山シンポジウム II 凝固・線溶・血小板研究—基礎と臨床—」桜川信男他編, 131, 宇宙堂八木書店, 1984.

2) 桜川信男, 高橋 薫, 近藤信一他: 異常アンチトロンビンIII血症における進行性アンチトロンビンとヘパリンコファクター活性の特徴. 「立山シンポジウム II 凝固・線溶・血小板研究—基礎と臨床—」桜川信男他編, 132—136, 宇宙堂八木書店, 1984.

3) 桜川信男: 血液凝固線溶系の検査. 「チャートによる検査診断学」屋形 稔他編, 410—433, 金原出版, 1984.

4) 桜川信男, 新井弘之, 宮川照夫: 止血機能障害. 「脳神経外科 術前・術中・術後管理」佐野圭司編, 272—290, へるす出版, 1984.

5) 桜川信男他編: 先天性アンチトロンビンIII欠乏症および異常症. 「血液疾患 症例・解説・検査」

血液凝固編」藤巻道夫他編, 213—234, 医学書院, 1984.

◆ 原 著

1) Koide T., Sakuragawa N., Odani S., Takahashi K., and Ono T.: Antithrombin III Toyama: Replacement of arginine-47 by cysteine in hereditary abnormal antithrombin III that lacks heparin-binding ability. Proc. Natl. Acad. Sci. USA 81: 289—293, 1984.

2) 新井弘之, 宮川照夫, 桜川信男: 急性期閉塞性脳血管障害に対する我々の治療方針. 脳卒中 6: 144—147, 1984.

3) 桜川信男, 近藤信一, 丹羽正弘: 異常アンチトロンビンIII (富山) の電気泳動的解析. 生物物理化学 28: 37—42, 1984.

4) 宮川照夫, 桜川信男: 脳血管と血栓症. 臨床血液 25: 1018—1026, 1984.

5) 山岸良一, 丹羽正弘, 近藤信一, 桜川信男: ヘパリン・コファクターIIの精製の試み. 血液と脈管 15: 361—363, 1984.

6) 丹羽正弘, 山岸良一, 近藤信一, 桜川信男: 和漢薬の生化学的・酵素学的研究. 血液と脈管 15: 375—377, 1984.

7) 小川 宏, 新井弘之, 宮川照夫, 尾崎建二郎, 桜川信男: 血液凝固異常と病理からみた脳幹(橋)出血の考察. 医学のあゆみ 131: 168—172, 1984.

8) Kondo S., Takahashi K., Niwa M., Yamagishi R., and Sakuragawa N.: Abnormal Antithrombin III “Toyama” and Heparin. Acta Medica et Biologica 32: 115—121, 1984.

9) Sakuragawa N., Yuasa K., Niwa M., and Kondo S.: Studies on Wakan-Yakus (Traditional Drugs): Inhibitory Effects of Gaiyoh (Artemisiae Folium) and Sanshishi (Gardeniae Fructus) on Blood Coagulation: Acta Medica et Biologica 32: 107—113, 1984.

10) Sakuragawa N., Kondo S., Niiya K., and Miyoshi I.: Oral Treatment of Hemophilia A and von Willebrand's disease: Jap. J. Med. 23: 394, 1984.

11) Takahashi K., Aiken M., Fenton J. W., and Walz D. A.: Thrombospondin fragmentation by α -thrombin and resistance to γ -thrombin: Biochem. J. 224: 637—676, 1984.

◆ 総 説

1) 熊谷 朗, 桜川信男: 血栓症と食習慣. 臨床検査 28: 38—45, 1984.

2) 桜川信男, 屋形 稔: 血栓症を惹起するアンチトロンビンIII異常症および欠乏症. 葉の知識 35: 16—19, 1984.

3) 桜川信男: 検査法—正常値と異常値のよみ方— フィブリノーゲン, FDP, プラスミノーゲン, プラスミン, プラスミンインヒビター, パラコアグラントテスト(硫酸プロタミンテスト). 診断と治療 72: 33—38, 1984.

4) 桜川信男, 近藤信一, 丹羽正弘, 山岸良一: 血栓, 止血学に関する最近の知見. 医薬ジャーナル 20: 57—63, 1984.

5) 桜川信男: 血友病治療薬の経口化. 総合臨牀 33: 1443—1444, 1984.

6) 桜川代男, 近藤信一: 白血病の出血現象. 臨床病理 32: 953—958, 1984.

7) 桜川信男: 血液凝固学よりみた動脈硬化とその対策. 新潟医学会雑誌 98: 373—377, 1984.

8) 桜川信男: 乳児の頭蓋内出血について. 新潟医学会雑誌 98: 421—424, 1984.

9) 桜川信男: 抗凝固療法. Progress in Medicine 4: 2229—2236, 1984.

10) 桜川信男: プロトロンビン時間. Medicina 21: 2200—2201, 1984.

◆ 学会報告

1) 桜川信男, 近藤信一: 白血病の出血現象. 第23回日本臨床病理学会東海・北陸支部総会, 1984, 3, 福井.

2) 桑原卓美, 加藤正彦, 川島猛志, 宝住姫代美, 松田正毅, 近藤信一, 桜川信男, 中野 護, 板東毅, 小泉富美朝: 急激な腹腔内出血で死亡した急性骨髄単球性白血病の一例. 第23回日本臨床病理学会東海・北陸支部総会, 1984, 3, 福井.

3) 奥田忠行, 林 史朗, 柴 則子, 松田正毅, 桜川信男, 小野寺孝一, 井内和幸, 余川 茂: Tread mill 運動負荷における Hand grip の影響— $\dot{V}O_2$ による検討—. 第23回臨床病理学会東海・北陸支部総会, 1984, 3, 福井.

4) 桜川信男, 近藤信一, 新谷憲治, 三好勇夫: 血友病Aおよび von Willebrand 病の経口治療に関する研究. 第18回日本内科学会, 1984, 4, 福岡.

5) 丹羽正弘, 山岸良一, 近藤信一, 桜川信男, 小出武比古: Histidine-Rich Glycoprotein の精製および性状. 第46回日本血液学会, 1984, 4, 京都.

6) 近藤信一, 丹羽正弘, 山岸良一, 加藤正彦, 桜川信男: 二次元免疫電気泳動による Antithrombin III と Histidine-Rich Glycoprotein のヘパリンに対する親和性の検討. 第46回日本血液学会, 1984,

4, 京都.

7) 山岸良一, 丹羽正弘, 近藤信一, 桜川信男, 小出武比古: ヘパリンコファクターII測定に関する検討. 第46回日本血液学会, 1984, 4, 京都.

8) 宮川照夫, 尾崎健二郎, 新井弘之, 小川 宏, 桜川信男: 1-deamino-8-D-arginine vasopressin (DDAVP) 投与による血管壁凝固線溶系の変動と血栓形成性との関連. 第46回日本血液学会, 1984, 4, 京都.

9) 小川 宏, 新井弘之, 宮川照夫, 尾崎健二郎, 桜川信男: 脳出血死例の凝血学的検討, その臨床と病理. 第46回日本血液学会, 1984, 4, 京都.

10) 新井弘之, 宮川照夫, 尾崎健二郎, 関根等, 桜川信男: 脳血管障害患者における 1-deamino-8-D-arginine vasopressin (DDAVP) 投与による血液凝固の変化について. 管 9 回日本脳卒中学会総会, 1984, 5, 東京.

11) 小川 宏, 新井弘之, 宮川照夫, 尾崎健二郎, 小池哲雄, 桜川信男: 脳出血36例の神経病理学的検討—凝血学的所見と出血の局在との関連—. 第25回日本神経病理学会総会, 1984, 5, 東京.

12) 桜川信男: 出血性素因による頭蓋内出血について. 第12回小児神経外科研究会 (シンポジウム), 1984, 5, 富山.

13) Sakuragawa N., Yuasa K., Niwa M. and Kondo S.: Studies on Wakan-Yakus from the viewpoint of blood coagulation. VIIIth International Congress on Thrombosis, 1984, 6, June, 1984, Istanbul.

14) Sakuragawa N., Niwa M., Yamagishi R. and Kondo S.: Purification and characterization of histidine rich glycoprotein. VIIIth International Congress on Thrombosis. 1984, 6, Istanbul.

15) 近藤信一, 桜川信男, 飯田博行, 水村泰治: 透析膜およびヘパリン量の凝固系に対する影響. 第29回人工透析研究会, 1984, 7, 京都.

16) 浦風雅春, 浜崎智仁, 矢野三郎, 近藤信一, 桜川信男: Monoclonal gammopathy に合併した後天性 von Willebrand 病と思われる一例. 第38回北陸医学会総会, 1984, 9, 金沢.

17) 奥田忠行, 林 史朗, 柴 則子, 松田正毅, 桜川信男: 酸素消費量計 RM-200 における新しいキャリブレーション法の試み. 第38回北陸医学会総会, 1984, 9, 金沢.

18) 大門良男, 角田美鈴, 松田正毅, 桜川信男, 山岸高由, 小西健一: バイテック AMS による細菌

検査成績の検討. 第38回北陸医学会総会, 1984, 9, 金沢.

19) 丹羽正弘, 近藤信一, 桜川信男: 艾葉中の抗凝固・線溶成分の精製および性質. 第1回和漢医薬学会・学術総会, 1984, 9, 富山.

20) Sakuragawa N., Kondo S., Niiya K. and Miyoshi I.: Oral Treatment of Hemophilia A and von Willebrand's Disease. XVI Internatitnal Congress of the World Federation of Hemophilia, 1984, 8, Brazil.

21) Sakuragawa N., Kondo S., Niiya K. and Miyoshi I.: Oral Administratitn of Factor VIII Concentrates Preparation to Hemophilia A and von Willebrand's Disease. XX Congress of the International Society of Hematology, 1984, 9, Buenos Aires, Argentina.

22) Sakuragawa N., Niwa C. and Niwa M.: Studies on the Influences of new Synthetized Antithrombin Drug (MD-805) on Blood Coagulation-Fibrinolysis. XX Congress of the International Society of Hematology, 1984, 9, Buenos Aires, Argentina.

23) Sakuragawa N, Yamagishi R., Niwa M., Kondo S. and Koide T.: Purification and Biological Property of Heparin Cofactor II: Activation of Heparin Cofactor II and Antithrombin III by Dextran Sulfate and various Glycosaminoglycans. XX Congress of International Society of Hematology, 1984, 9, Buenos Aires, Argentina.

24) Sakuragawa N., Kondo S., Niwa M. and Yamagishi R.: Studies on the Interaction between Abnormal Antithrombin III "Toyama" and Heparin. XVIIth International Congress of Internal Medicine, 1984, 10, Kyoto.

25) 丹羽正弘, 前田美雪, 丹羽知登世, 近藤信一, 桜川信男: MD-805 の血小板凝集阻害作用について. 第31回日本臨床病理学会, 1984, 10, 金沢.

26) 村田みね子, 野手良剛, 細谷孝子, 内記三郎, 松田正毅, 桜川信男, 鈴木好文: アガロースゲル電気泳動法による尿蛋白の分析. 第31回日本臨床病理学会, 1984, 10, 金沢.

27) 大門良男, 角田美鈴, 松田正毅, 桜川信男, 山岸高由, 小西健一: 臨床材料から分離された肺炎球菌の同定について. 第31回日本臨床病理学会, 1984, 10, 金沢.

28) 関根 等, 小川敬之, 新井弘之, 桜川信男:

脳動脈閉塞症における血中プレカリクレインの変動. 第31回日本臨床病理学会, 1984, 10, 金沢.

29) 近藤信一, 前田美雪, 丹羽知登世, 丹羽正弘, 桜川信男: ワーファリン服用時のビタミンK依存性凝固因子の変動. 第31回日本臨床病理学会, 1984, 10, 金沢.

30) 近藤信一, 丹羽正弘: Antithrombin III と Heparin Cofactor II. 第31回日本臨床病理学会, 1984, 10, 金沢.

31) 小川 宏, 宮川照夫, 新井弘之, 桜川信男: 内頸動脈閉塞症予後不良例の凝血学的検討—病理剖検所見との対比—. 第26回日本臨床血液学会, 1984, 10, 名古屋.

32) 桜川信男, 金堂 要, 山岸良一, 風間嘉晶, 丹羽正弘, 近藤信一: ポリエチレングリコール修飾第VIII因子. 第26回日本臨床血液学会, 1984, 10, 名古屋.

33) 風間嘉晶, 丹羽正弘, 近藤信一, 桜川信男, 宮川照夫, 新井弘之: プロテインC測定法と脳血管障害, 肝硬変, ワーファリン投与例の変動. 第26回日本臨床血液学会, 1984, 10, 名古屋.

34) 近藤信一, 桜川信男, 中川雅夫, 風間睦美, 松尾武文: 先天性 ATIII 欠乏患者における HCII と HRG. 第26回日本臨床血液学会, 1984, 10, 名古屋.

35) 桜川信男: 血友病の経口治療薬. 第26回日本臨床血液学会 (シンポジウム), 1984, 10, 名古屋.

36) 丹羽正弘, 風間嘉晶, 山岸良一, 近藤信一, 桜川信男: Histidine-Rich Glycoprotein の硫酸ムコ多糖類中和作用. 第26回日本臨床血液学会, 1984, 10, 名古屋.

37) 桜川信男, 近藤信一, 田中三千雄, 麓 耕平: 胃内投与トロンビンの凝血系へ及ぼす影響 (犬実験例と臨床例). 第25回日本脈管学会, 1984, 11, 東京.

38) 高橋 薫, 桜川信男, 近藤信一, 小出武比古: 遺伝性アンチトロンビンIII異常症. 第29回日本遺伝学会, 1984, 11, 富山.

39) 風間嘉晶, 近藤信一, 丹羽正弘, 桜川信男, 能澤明宏, 井上恭一, 佐々木 博, 貝沼知男: F. VIII R: Ag に比較して F. VIII C 活性の著増を認めた von Willebrand 病の 1 例. 東海・北陸合同地方会, 1984, 11, 富山.

40) 丹羽正弘, 前田美雪, 丹羽知登世, 山岸良一, 風間嘉晶, 近藤信一, 桜川信男: ヘパリン感受性とヘパリン関連蛋白質. 東海・北陸合同地方会, 1984, 11, 富山.

41) 近藤信一, 丹羽正弘: ヘパリンとATIII. 東海・北陸合同地方会(合同シンポジウムI), 1984, 11, 富山.

42) 丹羽正弘, 山岸良一, 風間嘉晶, 近藤信一, 桜川信男: 抗トロンピン剤(MD-805)およびヘパリンの抗凝固作用. 第7回日本血栓止血学会, 1984, 12, 東京.

43) 山岸良一, 丹羽正弘, 風間嘉晶, 近藤信一, 桜川信男: AntithrombinIII, heparin cofactorII および histidine-rich glycoprotein との関連. 第7回日本血栓止血学会, 1984, 12, 東京.

手 術 部

部長(併任) 伊 藤 祐 輔
助 教 授 佐藤根 敏 彦
助 手 樋 口 昭 子
助 手 佐々木 均
文部技官 中 丸 勝 人
文部技官 高 道 昭 一
文部技官 奥 野 政 一

◆ 原 著

1) 佐々木 均, 佐藤根敏彦, 伊藤祐輔, 佐藤祐次, 山崎光章, 杉森 隆: 全身麻酔剤の聴性脳幹反応に及ぼす影響. 北陸麻酔学雑誌 18: 21-26, 1984.

2) 大田良子, 佐藤祐次, 久世照五, 高道昭一, 奥野政一: PEEP 弁を使用時の肥満症の全麻管理の経験とその考察・北陸麻酔学雑誌 18: 45-49, 1984.

3) 林 睦子, 増田 明, 伊藤祐輔, 中丸勝人: 術中輸液一胃切除術291例の検討一. 北陸麻酔学雑誌 18: 27-37, 1984.

4) 中西拓郎, 矢作直樹, 田辺隆一, 増田 明, 樋口昭子, 中丸勝人, 宮崎久義: 不測の大量出血に対する代用血漿 hydroxyethyl starch (Hespan[®]) を使用した限定的血液稀釈の経験. 日本臨床麻酔学会誌 14: 53-61, 1984.

5) 中丸勝人, 伊藤祐輔, 宮崎久義: ディスポーザブル滅菌タオル収納容器タオルホルダー[®], ムキンガード[®]の細菌学的検討. 医器誌 54: 269-272, 1984.

6) 樋口昭子, 高道昭一, 増田 明, 伊藤祐輔, 中西拓郎: 左心不全症状を呈した縦隔気管支性囊腫の麻酔経験. 臨床麻酔 8: 990-992, 1984.

7) 久世照五, 大田良子, 林 睦子, 伊藤祐輔,

中丸勝人, 宮原龍郎: DL およびL乳酸化リンゲル輸液の乳酸代謝と体液諸因子に及ぼす影響. 臨床水電解質 2: 128-134, 1984.

8) 乙供通則, 椿坂英樹, 菊池和彦, 佐々木 均, 今 一郎: 外傷後愁訴症候群としてのめまい—ETT, OKD による follow up study—, 日本災害医学会誌 32: 63-72, 1984.

9) 山崎光章, 増田 明, 伊藤祐輔, 樋口昭子, 高道昭一, 佐藤根敏彦: CO₂ レーザーによる気管内チューブ燃焼の検討. 臨床麻酔 8: 1373-1378, 1984.

10) 大橋直樹, 浅井正嗣, 上田晋介, 今村純一, 渡辺行雄, 水越鉄理, 樋口昭子, 山崎光章, 高道昭一: CO₂ レーザーの挿管チューブに対する安全性の検討. 日気食会報 35: 361-365, 1984.

11) 高道昭一, 樋口昭子, 佐藤根敏彦, 伊藤祐輔, 山崎光章, 芦沢雄三: CO₂ レーザーによる気管内チューブ穿孔時の実験検討. 日本手術部医学会誌 5: 195-197, 1984.

12) 村川徳昭, 山下正夫, 佐藤根敏彦, 工藤美穂子, 松木明知, 尾山 力: 静注用ニトログリセリンによる低血圧麻酔の下垂体. 副腎皮質系に及ぼす影響. 麻酔 33: 1862-1865, 1984.

13) 桐山昌子, 増田 明, 佐藤根敏彦, 樋口昭子, 伊藤祐輔: Cornelia de Lange 症候群の麻酔経験. 麻酔 33: 1392-1394.

14) 樋口昭子, 増田 明, 久世照五, 伊藤祐輔: 前投薬後, 腰椎麻酔直前に冠動脈スパズムをきたした1例. 麻酔 33: 1408-1412, 1984.

◆ 学会報告

1) 中丸勝人, 佐々木 均, 樋口昭子, 佐藤根敏彦, 伊藤祐輔: ヘパリン加血液ガス分析検体におけるイオン化カルシウム測定の基礎的検討. 第11回日本集中治療医学会総会, 1984, 3, 東京.

2) 山崎光章, 増田 明, 伊藤祐輔, 樋口昭子, 高道昭一: CO₂ レーザーによる気管内チューブの発火とその対策. 第20回新潟麻酔懇話会, 1984, 6, 新潟.

3) 樋口昭子, 林 睦子, 久世照五, 伊藤祐輔: 左室収縮時間の麻酔前診察への応用. 第31回日本麻酔学会総会, 1984, 4, 福岡.

4) 佐々木均, 佐藤根敏彦, 佐藤祐次, 伊藤祐輔: 各種全身麻酔薬のヒト聴性脳幹反応におよぼす影響. 第2報——とくに thiamylal と ketamire について——. 第38回北陸医学会総会, 1984, 9, 金沢.

5) 八木裕一郎, 広田弘毅, 佐藤根敏彦, 佐々木均: Spondylo-epiphyseal-dysplasia 患者の麻酔